



関東建設工業グループSDGs宣言

関東建設工業グループは社会基盤の整備を担う建設業として、地域社会に貢献できる企業を目指しています。

「街に活気を・人に笑顔を」をスローガンに、子どもたちの笑顔があふれる社会を守り続けるため、安心安全で快適な環境を創出し、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsの17項目に対する関東建設工業グループの具体的な取り組み

	あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ <ul style="list-style-type: none">東和銀行のCSR私募債を活用して、群馬パース大学、おおた国際アカデミーなど各種学校へ、寄付や備品の寄贈を行っています。
	飢餓に終止符を打ち、食料の安定供給と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する <ul style="list-style-type: none">食品ロスを無くし、生活困窮者を支えるため、太田市のフードバンク事業に参加しています。
	あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する <ul style="list-style-type: none">当社が管理運営する屋内型遊戯施設ワンパークを、地域の幼稚園・保育園に開放しています。イズム鉱業(株)小俣工場内のグラウンドゴルフ場を地域の人たちに開放しています。群馬クレインサンダーズ・群馬ダイヤモンドペガサス・ザスパクサツ群馬・埼玉武蔵ヒートパアーズ・太田市「SK」エアロビクアスリートクラブを始め、様々なスポーツ活動の支援を行っています。
	すべての人に包括的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する <ul style="list-style-type: none">優秀な学生を対象とした、企業の奨学金返還支援(代理返還)制度をスタートしました。高校生や専門学校生に就業体験の機会を提供するため、インターンシップを受け入れています。おおたCCTカレッジを開設し、仕事に必要な資格取得の推進を図っています。また資格試験の受験費用を負担し、合格者には資格手当を支給しています。
	ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る <ul style="list-style-type: none">工事現場にも女性用トイレ・更衣室を設けるなど環境整備を進め、多くの女性が活躍しています。ジェンダーに関係なく働くことができるように、ICTやBIMをはじめとする技術の活用を強化しています。
	すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する <ul style="list-style-type: none">建築物に、節水型の衛生機器や自動混合水洗式洗面台などを積極的に導入しています。
	エネルギーをみんなに そしてクリーンに <ul style="list-style-type: none">メガソーラーの建設や、再生可能エネルギー事業を行っています。新築・既存建築物の省エネ化や、屋根への太陽光発電システム設置などを推進しています。工事現場では各種注意喚起ライトに太陽光発電電力を活用し、仮設照明はLEDライト使用により省電力化を図っています。

8 働きがいも
経済成長も



すべての人のための持続的、包括的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する

- 「群馬県いきいきGカンパニー」認証を取得しており、すべての社員が働きやすい環境を目指し、ワーク・ライフ・バランスの推進を図っています。
- 産休・育休・時短制度により、子育て世代・介護世代に即応した柔軟な勤務形態を実現しています。

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



強靱なインフラを整備し、包括的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る

- 災害発生時における迅速なインフラ復旧活動に対応すべく、事業継続計画(BCP)を策定しています。
- 施設の免震化を図り、災害に強いまちづくりに貢献しています。
- 災害発生時には、本社ビルを帰宅困難者受け入れ施設として提供します。

10 人や国の不平等
をなくそう



国内および国家間の格差を是正する

- 豊富な知識・経験を有するシニアが安定的かつ安心して働けるよう、定年を60歳から65歳へ延長し、希望者は65歳以降も嘱託として働き続けられる体制を整えています。

11 住み続けられる
まちづくりを



都市と人間の居住地を包括的、安全、強靱かつ持続可能にする

- 中心市街地において、市街地再開発事業や優良建築物等整備事業を行い、産業の創出、地域の賑わい、若年人口の流入に貢献しています。
- 建設地の地域開催事業への参加や協賛、現場周辺のクリーン活動を実施しています。

12 つくる責任
つかう責任



持続可能な消費と生産のパターンを確保する

- 工事現場で排出するコンクリート廃材やアスファルト廃材はイズム鉱業(株)で受入れて加工し、再生材として道路工事などで再利用しています。
- 産業廃棄物の分別、リサイクル化を推進しています。(リサイクルステーションの設置)

13 気候変動に
具体的な対策を



気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る

- CO2排出削減のため、太陽光など再生可能エネルギー発電と断熱建材の活用などを組み合わせたZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)を積極的に推進しています。
- 事業活動に使用する電力量を100%再生可能エネルギーで賄うRE100を100%達成済です。(2020年度 当グループ消費電力量380万kwに対し、再生可能エネルギーによる発電力量は465万kw)

14 海の豊かさを
守ろう



海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する

- マイクロプラスチックの発生を抑制するため、プラスチックゴミの分別ならびに削減を行っています。
- 当社が実施しているCO2削減の取り組みは、海洋酸性化を防ぐためにも有効です。

15 陸の豊かさも
守ろう



陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る

- ペーパーレスを推進し、紙媒体の削減に努めています。(グリーンサイト、電子マニフェスト等)
- ぐんまこどもの国花壇パートナーズとして、地域の緑化活動に参加しています。
- 環境保全活動および地域貢献活動の一環として、太田駅周辺の清掃活動を行っています。

16 平和と公正を
すべての人に



持続可能な開発に向けて平和で包括的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包括的な制度を構築する

- コーポレートガバナンスを強化し、法令遵守の徹底や高い倫理観をもって、企業の社会的使命を果たしていきます。

17 パートナリシップで
目標を達成しよう



持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

- 協力業者とのパートナーシップを大切に、共に成長発展する関係を構築しています。
- 「建設キャリアアップシステム」の運用により、協力会社の技能者の処遇改善や技能充実に努めています。